

# 生物資源の持続的利用をめざして

- 瀬戸内海における持続性評価の試みと将来展望 -

## 趣旨

「持続性」は国の内外を問わず現代の最も有力なキーワードの一つですが、我が国の代表的閉鎖性海域である瀬戸内海においても、その生物資源・漁業資源の「持続性」の確保は今日、極めて重要なテーマとなっています。しかしながら、従来、瀬戸内海の生物資源の持続性を評価するための具体的な方法、例えば評価指標や判定基準ならびに評価システムは全く整備されていませんでした。

そのような状況の中で、環境省の委託を受け平成11～13年度にわたり「瀬戸内海の生物資源の持続性評価システムに関する調査研究」が推進されました。今回のワークショップでは、その調査研究の成果をふまえ、瀬戸内海の生物資源の持続的利用をめざして、現状の評価と将来展望を行います。平成11年には計画検討のための『事前ワークショップ』を開催しましたので、今回のワークショップは先のワークショップと対をなすいわば『事後ワークショップ』であり、調査研究の成果を手掛かりにして「瀬戸内海の生物資源の持続性を維持・確保するにはどうしたらよいか」を多角的に検討することを目的としています。

さらに今回は、報告結果を材料にして「では実際にどうしたらよいか、どういうことができるか、みんなで考えてみましょう」というワークショップ・総合討論を展開します。各発表者は各テーマの研究結果報告の後に、「瀬戸内海の生物資源の持続性を維持するにはどうしたらよいか」それぞれ提言を試みますので、参加者各位には忌憚のないご批判とともに、各方面からできるだけ建設的な提言をお願いいたします。

## 日時

平成14年11月19日(火) 13:30～17:30

## 会場

国際健康開発センター会議室(8階)

神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 ☎078-261-9808

## 講演者・テーマ

<b>戸田 常一</b>	広島大学経済学部附属地域経済システム研究センター教授 陸域の人間活動による水質汚濁負荷の計測について
<b>上 真一</b>	広島大学大学院生物圏科学研究科教授 太田川 - 広島湾流域圏の環境変遷の遡及的研究に基づく広島湾の生物資源持続性の評価
<b>門谷 茂</b>	北海道大学大学院水産科学研究科教授 持続性評価のための干潟域におけるケーススタディー
<b>松田 治</b>	広島大学大学院生物圏科学研究科教授 魚類養殖場における持続性の定量的評価について
<b>柳 哲雄</b>	九州大学応用力学研究所教授 沿岸海域生態系保全のための環境モニタリング総合指標の提案

## 主催

瀬戸内海研究会議

## 協賛

財団法人ひょうご環境創造協会

## 後援

環境省、瀬戸内海環境保全知事・市長会議、兵庫県瀬戸内海環境保全連絡会  
社団法人瀬戸内海環境保全協会 (以上予定)

## 参加料等

定員 100名程度  
参加料 研究会議会員：1,000円  
一般：3,000円(資料代を含む)

# application form

## 参加申込書

日時 平成14年11月19日(火) 13:30 ~ 17:30

会場 国際健康開発センター 会議室(8階)  
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 ☎078-261-9808

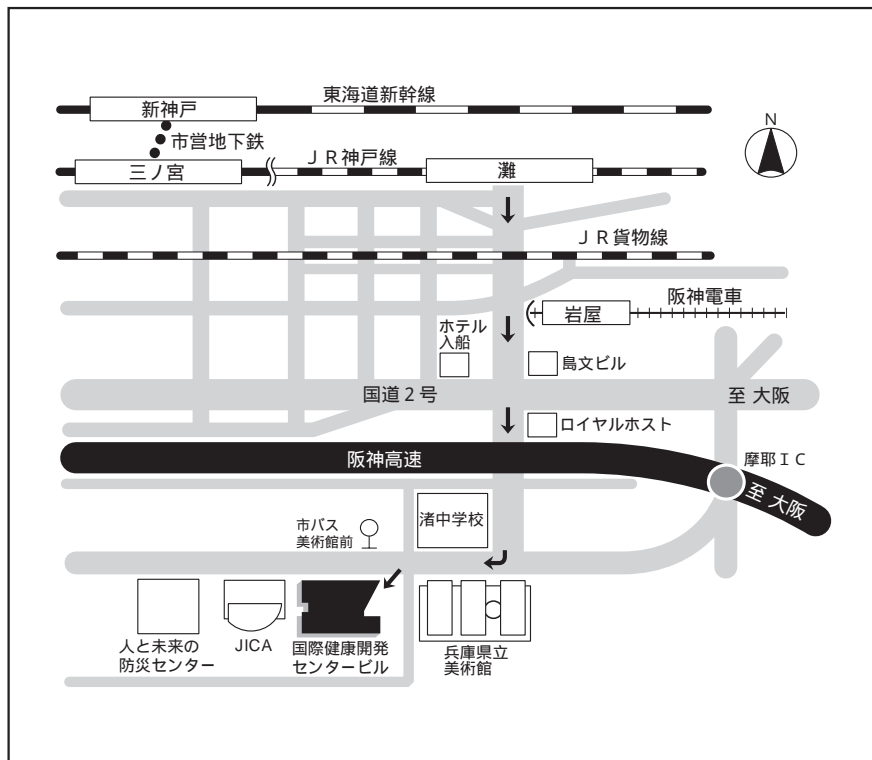
### 申込み方法

FAXまたは、Eメールで下記の事務局に11月5日(火)までにお申し込みください。

所属 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

### 案内図



### ACCESS

- JRの場合  
灘駅より徒歩15分
- 阪神電車の場合  
岩屋駅より徒歩13分
- 新幹線の場合  
新神戸駅より地下鉄三宮駅(約10分)  
↓  
JR三宮駅より灘駅(約3分)  
↓  
灘駅より徒歩15分

### 申込み・問い合わせ先

瀬戸内海研究会議事務局  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1  
国際健康開発センター3階  
(社)瀬戸内海環境保全協会内  
TEL 078-241-7720  
FAX 078-241-7730  
E-mail web@seto.or.jp